



や 竜 哉
たつ 竜 哉
とう 藤 竜 哉
え 衛 藤 竜 哉

新たな過疎法の取り組みは

～9月定例会に向け計画を準備中～

答 市長
これまでの過疎法は、平成12年から平成22年の10年間の時限立法で、前期と後期で過疎計画を策定しており、後期計画の事業につきまして、全事業115件のうち、97件の事業に着手し、46件が事業を完

質
「過疎地域自立促進特別措置法」が国会で6年間の延長が決まり、新しくソフト事業にも対象範囲が拡充されている。
これからの考え方、取り組みを伺う。

了しています。
新たな過疎法の内容として、住民が安全・安心な暮らしの確保を図るための事業など、「ソフト事業」にも対象範囲が拡充されています。
○認定こども園や図書館、自然エネルギーを利用するための施設が追加。
○小・中学校の校舎などの統合要件が廃止されたこと。
○地域医療や交通手段の確保。
○集落の維持および活性化など、本市の過疎ソフト事業限度額の試算額は、平成22年度で2億7562万1000円となり、平成23年度以降もおおむねこの額で推移していくこととなります。
法改正を受け、趣旨を踏まえ創意工夫しながら、構築してまいりたいと考えています。



過疎債で配置された消防車と救急車



過疎債を利用して増床工事中（公立おがた総合病院）

健康一番 何よりの宝

～予防対策に取り組む～

答 市長
親と子の健康づくり、一次予防を重視した健康づくり、こころの健康づくり、支えあう地域づくりの4つの視点から事業の推進をしてきました。
以上の取り組みを中心に、今後も引き続き赤ちゃんから高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた健康づくり事業を実施してまいります。

質
健康こそ宝であり財産であります。本市の健康づくり計画が策定され1年が経過するが、その取り組み状況は。



あき 昭 義
なり 成 昭 義
みや 宮 成 昭 義

千歳中心部への入り口はどこ

～改良など積極的に～

質
千歳インター周辺の道路整備を市としてどのように捉えているのか。

答 建設部長
千歳インターチェンジを利用した千歳町中心部への交通量が大きく増加しております。中心部への取りつけ道路は直角で標識もなく、分かりにくいことを認識しています。
山内新線および広域農道への取りつけなど、インター周辺を一体的に捉え、地域の発展と振興につながるような道路網の整備を要望活動も含め、積極的に進めてまいります。



中心部への入り口（国道57号）

人権侵害 調査状況は

～解明へ調査続行～

質
職員の誹謗・中傷における調査委員会のその後の調査状況は。
答 総務部長
現在も係争中であり、内部調査委員会といたしましても、さらに犯人の動機などについて解明すべく、公判を傍聴しているところです。